

藤 沢

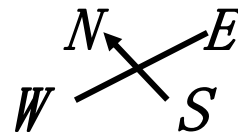
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2025年4月1日

第371号

<http://econet2015.sakura.ne.jp>事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

主
な
記
事

- ・湘南なぎさ荘を現地に残して
- ・放射能汚染の恐ろしさを知った
- ・野鳥とのつきあい方
- ・除去土壌が全国で使用される

ゼロカーボン推進課の誕生に期待する！！

～気候変動への取り組みは科学的なデータをもとに～

IPCC報告書では異常気象が起きると警告（山火事の頻発も）していたが、現実には次々と起きています。現在の地球温暖化の原因は化石燃料の大量消費による人為的なものと断定（第6次報告書）。一刻も早く、原因を絶たねば温暖化の進行は止められません。

気温上昇 1.5℃までの炭素予算は 500Gt-CO₂。2050 年までにゼロカーボン実現を提起。

要約版 (Summary For Policy Makers) :SPM があるのはご存知でしょうか？

脱炭素社会のシステムづくりの政策決定者とは、一義的には政府・自治体（行政と議会）ですが、これを支えるのは国民です。

最近のロサンゼルス近郊や日本各地、韓国で山火事が頻発していることについて、国際研究グループ「クリマメーター」は高温、乾燥、強風という条件のもとで燃え広がった。

過去の気象データと比較した結果、主に人為的な気候変動によって火災が起きやすい気象条件が強化されていることが示された。これらの背景には人為的な気候変動が主な原因だと結論付けて HP に発表しました。

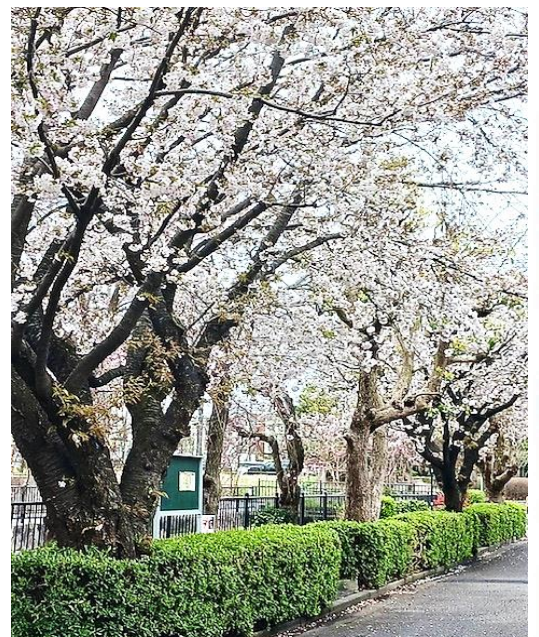
地球温暖化により、日本の気候はどうなるのか？

気象庁と文部科学省は、日本の気候変動について、最新の観測結果や科学的知見を取り入れた『日本の気候変動 2025 一大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書一』を公表しました。

気温上昇幅が大きな場合、かつて日本では「100年に1回」程度だった猛暑をほぼ毎年経験することになると予測。報告書は、国や自治体の気候変動対策に役立ててもらうためのもので、2050 年温室効果ガスの排出ゼロ目指している政府や自治体の取り組みに活かすことが重要です。

このような状況の中で、4月から藤沢市では組織改正により、環境部の環境総務課内にあったゼロカーボン推進担当の業務を移管し、「ゼロカーボン推進課」が誕生。

2050 年カーボンニュートラルをめざし「気候変動の危機的状況を市民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報共有し、協働して取り組む気候変動対策」が一層加速化することが期待されます。（生物資源科学博士 宮地俊作）



サクラ 小糸川沿いの並木

除去土壌が全国で使用される危険な 事態が4月1日から現実化

除染土壌（環境省は「除去土壌」という）が、福島第一原発を囲む中間貯蔵施設に約1200トある。

2045年までに福島県外での最終処分が義務づけられている。環境省は県外最終処分量を減らすために、2011年の放射性物質汚染対処特措法での閣議決定で「減量化して再利用をする」としたことを根拠に、減量化の技術開発、再利用を検討してきた。

特措法では再利用は法的に規定されていないのに、処分概念の中に再生利用を入れるという姑息な解釈をしてきた。事故前の再利用基準100 Bq/kgの他に、**8000 Bq/kg 処置基準**を設け、公共事業等での再生利用を全国（福島県内も含める）で進めるための省令改定案が1月～2月に実施された。

環境省のHPでは、**提出意見数は207,850件**とするが、「句読点、記号、改行も含め一字一句完全に一致した御意見を1件として整理した場合の意見数は8,277件（約4%）でした。」と20万件を超える膨大な意見数（概ね反対意見と推察する）を薄めるための姑息な操作をしている。一字一句同一としてもそのことに賛同した意見が**20万件を超えていた**事実は重い。意見の種類は、簡潔に、賛成〇件、反対〇件、判断保留・その他〇件と整理すべきである。

全国の公共施設用の土壌として汚染土壌が使用される。世界的にも前例のない事態に対し、国会審議もなく20万件の国民の意見を無視し何の修正もなく、3月28日に環境大臣により省令改定が決定された。

暴挙である。4月1日から福島県内を含む全国の公共事業で汚染土壌が使用される。民主主義国家としては大問題であり、国会議員の奮起が求められる。

さらに、忘れてはいけない事実がある。避難指示区域面積は、最大時で約11万ha（福島県の約8.3%）であり、その**約8割の森林は除染されず**、このままでは最終処分地となる。

その面積は約9.2万haで藤沢市の約18倍である。

系長浩司（飯舘村放射能エコロジー研究会共同世話人、元日本大学教授）



湘南なぎさ荘を現在地に残して！

「鵜沼公民館の建て替えにあたって、湘南なぎさ荘（老人福祉センター）を含めて7施設の複合化で話が進んでいるようよ」という声が聞こえ、不安にかられているところに年が明け、鵜沼公民館で3回の意見交換会がもたれた。

公民館は津波の避難所として指定されていないが、建て替えが必要であること。その際、鵜沼こどもの家、湘南なぎさ荘を複合化し、多世代が交流するセンターにしていくと説明がなされた。

説明を聞くなかで、はて？と思ったのは、津波災害時に公民館への避難の場が確保されるが、一方、なぎさ荘も避難所として指定された施設なのに、その地域の住民の安全はどう確保できるのかと疑問にかられた。建物は33年しか経っていない。

そうした疑問にお風呂は利用者が固定化していること、ボイラーの修繕にお金がかかる、といった資料が示された。コロナ禍をくぐりぬけ利用者人数も増えつつあり、新鵜沼市民センターに建て替えられた場合は人気のアクアセラピーのプールや利用度が高いお風呂は無くなる。

2月の市議会で公民館立て替えの審議がされるというので、これは大変。地域住民の皆さんはなぎさ荘移転の話を知らないのではと「なぎさ荘を残してくださいの会」が大急ぎで立ち上げられ、各家にお知らせのビラと議会陳情をするために署名をお願いして歩いた。短期間で619筆の署名が集まった。

災害時、安心して身を寄せる場所となる公共の施設なのになぜ？の声が寄せられた。残念ながら陳情は議会で趣旨不承となったが、建物の取り壊しや存続は検討中であり、市民の意見を聞き進めるとされ、3週間後になぎさ荘で説明会がもたれた。会としてすぐ状況をビラにして住民に知らせたこともあり、当日は80名の参加者。計画が住民不在で進められる不満。なぎさ荘は移転するだけで、無くすとはっていないとする詭弁の暴露。鵜沼公民館立て替えの期間は8年間、今のままとするなら、お風呂の修繕などしっかりやってほしい、各サークルの要望を聞いて欲しい、検討会には住民の代表を入れて欲しいとの発言は圧巻で

地方自治のあり方を目の当たりにした集会になった。市側のコメントでも「市民の意見を真摯に聞き、進める」と述べているのだからその通りに対処してほしい。（吉鶴美智子）

放射能汚染の恐ろしさを知った

3月9日市民会館展示小ホールで、私たち「福島の子もたちとともに・湘南の会」はドキュメンタリー映画『決断』の上映会を開催しました。この映画は、東日本大地震発生により政府や東京電力の原発政策の誤りが露呈し、平穏に暮らしていた福島の10の家族が放射能汚染から逃れる避難者として、どのような「決断」を迫られたのか、その後の生活を坦々と写し出しています。

それぞれの人の言葉の中に辛さや無念な思い、強い意志が伝わってきて胸を打たれました。参加者約90名。鑑賞後残られた約30名の方々の意見や感想を聞き有意義な時間を過ごしました。また、残らなかった方からも、避難者の長い闘いや原発事故問題への率直な意見が多数寄せられ、何年経とうと忘れ去られないよう、活動をしなければと思いました。

参加者からは「放射能汚染の恐ろしさを知った」「3.11に、原発事故に対し関心が薄れてきている。若い世代に関心を持ってほしい」「人々が真剣に現実や自分と向き合っている様子、原発事故の現実が伝わった。多くの人たちに知らせたい」「原発を導入した政治の役割、歴史的経過について語られていない」「原発事故の裁判について知らなかった。まして子供たちの未来についても他人事だった」・・・まだ沢山の意見が出されました。

今回の上映会のような地道な反原発の活動は参加者の声が聞けてとてもよかったと思います。しかし昨年12月改定された政府の第7次エネルギー基本計画ではそれまでの「原発依存度を可能な限り低減する」から「原発推進」へ大きく舵を切ったことを知り、驚きと憤りを感じています。私たちは上映会に参加した方々と共に「知ったこと」「感じたこと」を声にして、原発のいない社会へ近づける努力をし続けていきたいと思っています。（三上直子）

野鳥との付き合い方（続々）

1. 木々の芽吹く前に

春を前に葉が落ち枝だけになった木に何か見慣れないものが見えると、鳥の巣かなと思った事がありますか。写真のようにちょこんと。

これは紛れもなく鳥の巣、メジロだという人もおりましたが、定かではありません。それにしてもなかなか凝った造形ではないですか。春、野鳥は産卵前に巣を作ります。それが今の時期です。巣の材料をくわえ飛ぶ鳥たちに出会う頻度が増えると思います。またご興味のある方は、藤沢市の遠藤笹窪谷公園の展示室に鳥の巣の実物が展示してあります。是非ご覧ください。



自宅近くの交差点で歩行者が見つらいため、道路脇の植栽と立ち木が伐採されました。作業後、傍らに鳥の巣が捨てられていました。形からしてヒヨドリの巣のようです。



驚くほどにたくさんの白いプラスチックテープが使われていました。

（次ページに続く）

野鳥との付き合い方 (つづき)

2. カモ類の求愛行動

春になれば北に飛び立つカモは、1、2月から繁殖相手を決め番（つがい）となります。その時期には集団ディスプレイがみられます。

3月ともなればすでに雄雌は相手が決まりペアでいることが普通となります。そして時々見せるのがペアのダンスです。



3月20日久しぶりで訪れた境川の下飯田遊水地にはヒドリガモ、マガモ、コガモ、ハシビロガモ、ヨシガモ、オカヨシガモそしてカルガモと勢ぞろいしておりました。その中でオスのマガモがリズムカルに首を伸び縮みさせてメスにディスプレイし、メスが同調して同じように首を伸び縮みさせていました。番であることの確認なのでしょう。暖かい日なら時を忘れて鳥たちの動きを見ているのも楽しいものです。（菅谷芳雄）

ECONET INFORMATION

▲公権力とジャーナリズムの関係

横浜市のメディアへの介入を考える

講師 岩崎貞明さん（メディア総合研究所事務局長）

4月12日（土）16:30～ 参加費 500円

場所 かながわ県民センター304室

主催 公権力とメディアの関係を考える会

連絡先 090-7405-4276 竹岡

▲ふじさわ・9条の会 20周年記念講演

講師 伊藤真さん（弁護士・伊藤塾塾長）

「戦争をしないと誓った憲法と私たちにできること」

5月10日（土）13:30～ 藤沢市民会館小ホール

参加費¥1000 前売り券¥900 学生無料

主催 ふじさわ・9条の会 090-9239-0864

▲2025年 平和行進

5月16日（金）10時 藤沢市役所本庁舎集合

日本被団協ノーベル賞おめでとう

核兵器廃絶の実現をとアピール行進します

主催 ピースリレー・ふじさわ

連絡先 090-3513-3142 塚本

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

事務局募集 環境問題と一緒にしませんか！

◆事務局会議 4月5日（土）10:00

六会公民館

ECONET INFORMATION

▲ シネマ ピースカフェ

4月11日～4月20日 ¥1000

4月11日（金）①10時半- ②14時- 茅ヶ崎市民文化会館で「壊された5つのカメラ～パレスチナピリンの叫び」

4月12日（土）①10時半- ②14時- 「沖縄戦の図」 4月18日（金）①10時半- ②14時半- 「生きて生きて生きろ」 蟻塚さんのトークあり 4月20日（日）①10時半-

②14時半- 茅ヶ崎市勤労市民会館で「橋のない川 第一部 第二部」

主催 ピースカフェ茅ヶ崎 090-4845-9915

〈編集後記〉最近の世の中、人権はどうなっている？ マスコミ世界にはびこる性暴力。福島、能登など天災人災への冷たい支援、身近では高齢福祉施設の閉鎖化や、公共施設利用へのデジタル化で、高齢者が締め出される等など。人権が危うい。引き換えに国では軍事費増強はうなぎのぼり、有事では西太平洋で最前線に？等トンデモない米国の発言。また市の大型開発は止まらない。憲法11条、12条の基本的な人権、幸福追求の権利を考えたい。（A）

